

理財部会長報告

会議名 第2回理財部会（オープン部会）

日時 2021年9月6日（月） 13:30～15:00

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 ・ 正副部会長4名、水澤専務理事
・ 理財部会員9名、他部会員7名 計21名

懇 談

テーマ① 「ウィズコロナを乗り越え成長する健康経営」

ゲスト アクサ生命保険(株)HPM推進部
健康経営エキスパートアドバイザー 掛井 昭広 氏

テーマ② 「新型コロナウイルスの対応等の社内環境整備」

ゲスト 秋田働き方改革推進支援センター
センター長 齋藤 孝一 氏

■ウィズコロナを乗り越え成長する健康経営

- ・ COVID-19の影響→VUCAの時代に入

Volatility：変動性 **U**ncertainty：不確実性

Complexity：複雑性 **A**mbiguity：曖昧性

- ・ 感染症の時代を乗り越え、企業が成長するためには
経営者の力強い推進力・経営戦略 に加え
優秀な従業員（人財）を育成し続けること→「健康経営」

■健康経営に取り組むことで期待される効果・メリット①

生産性の向上、リクルート効果、モチベーション向上

医療費の削減、各種インセンティブ（国・自治体・金融機関等）

- ・ 健康投資1ドルに対するリターン3ドルとの調査結果
- ・ 「従業員の健康や働き方への配慮」 就活生で2位、親では1位

■健康経営に取り組むことで期待される効果・メリット②

- ・労働生産性損失額

アブセンティーズム → 病気で欠勤・休業の状態

プレゼンティーズム → 目に見えにくい体調不良

※医療費等の直接費用**18%**に対し、

パフォーマンス低下による間接費用が**82%**

- ・健康経営に取り組む企業は**離職率が低い傾向**

■健康経営の進め方

- ・健康経営優良法人認定制度 → **見える化、社会的評価**

- ・取組内容
 - STEP 1 社内外に健康宣言をする
 - STEP 2 担当者を決め、組織体制を構築
 - STEP 3 健康課題を把握する
 - STEP 4 計画策定・健康づくりの推進
 - STEP 5 健康づくりの効果検証・改善
 - STEP 6 健康経営優良法人への応募**

■新型コロナウイルス対応等の社内環境整備①

- ・企業活動継続のための計画策定

従業員とその家族、出入り業者、顧客など

それぞれ**感染した場合・濃厚接触者となった場合**を想定

- ・感染防止の**5つのポイント**

①テレワーク・時差出勤等の推進

②体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め
実行できる雰囲気づくり

③密にならない工夫

④感染リスクが高まる「**5つの場面**」での対策・呼びかけ
※職場では特に「**居場所の切り替わり**」

（**休憩室・更衣室・喫煙室など**）に注意

⑤手洗・消毒等の基本的な対策

■新型コロナウイルス対応等の社内環境整備②

ワクチン接種について

- ・ 接種は個人の判断で、義務付けは出来ないが
会社として接種を勧奨することは問題なし（過度は×）
- ・ 労働日に接種を行う場合の離席時間の扱い
接種は従業員判断（任意）→ 労働時間とはならず
欠勤控除も可能 だが・・
労働時間とみなす、年次有給休暇、終業時刻の繰下げ
ワクチン休暇等の特別休暇設定 などの検討余地あり
- ・ 労災保険給付の対象となるケース
医療・介護従事者の業務によるもの
その他の業種も業務起因性が認められた場合は対象